

あの人この人



鈴木 明巳さん
(勝沢町)

肉用牛肥育経営者

インタビューにうかがった日は、週に一度の牛の競り日で、前橋家畜市場で生後四か月の牡牛を買い付けてきたところでした。

鈴木明巳さんは、昭和十七年十一月三日生まれ、勢多農林高等学校を卒業後、米麦養蚕を主とする家業を継ぎました。昭和四十三年、波子さんとの結婚を機に、祖父の残した耕作用牛一頭を元手に肉用牛肥育にいち早く転換します。まさにゼロからのスタートでした。飼料稲等の生産や耕育連携による稲わら等の自給飼料を確保して、効率的な和牛、交雑種肥育を実現し、生産性の高い経営を確立しました。

さらに、県内の関係職員並びに農林学生の研修を積極的に受け入れるなど、熱心で親切な指導者として農業者の育成を行い、地域のリーダーとしても信頼され、人望も厚い方です。

認定農業者として前橋市農業の中核を担っています。半世紀以上にわたる経営は、決して順風満帆であったわけではなく、3回の大きな危機を経験しています。1回目は一九七三年

に始まったオイルショックによる世界経済混乱。2回目は二〇〇〇年代初頭に発生し、畜産業や精肉店などの食肉関連産業が大打撃を受けたBSE問題。近年ではTPPと、度重なる危機を乗り越え、現在に至っています。

そして、永年にわたる肉用牛肥育経営の傍ら地域並びに県内肉牛組織の役職に携わる中で、地域農業振興などの功績が認められ、平成二十八年に農事功績者表彰(緑白綬有功章)を受賞、所属する関係団体の推薦を受け、公益社団法人大日本農会の現総裁を務める秋篠宮文仁殿下の訪問を昨年十月二日にお受けしました。殿下からは専門的なご質問が沢山あつたそうです。この日は30℃以上もある暑い日で、殿下から関係者に「今日は夏日ですって」というお言葉があり、一瞬、涼やかな時が流れました。芳賀地区にとつても殿下の訪問は喜ばしいことだと思います。

現在、和牛と交雑種を250頭あまり肥育していますが、牛にもいろいろな性格があり、人懐っこい牛、神経質な牛、引つ込み思案な牛がいるそうです。ボス牛もいて、餌を食べる序列やケンカもあるといったお話をしてくださいました。ここやかに牛たちのことを話す姿から、愛情を持って肥育している様子がうかがえました。

そして何よりも二人三脚で苦楽をともにしてきた波子さんに一番の感謝をしているのではないかと感じました。

文責 勝沢町生涯学習奨励員

中山 洋子

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたりしく入った本の紹介

一般書

著者名

黒武御神火御殿

(三島屋変調百物語六之続)

暗約領域(新宿鮫11)

居酒屋ぼったくり7

はい、さようなら。

信長、天を墮とす

ブルーブラッド

間宵の母

自由は死せず

私に本当に似合う服

児童書・絵本

せかいのトイレ

親子で遊べるのりもの知育ぶっく

オールカラーマンガ作文が上手になる

おねえちゃんって、すっこくもやもや!

こねこのルップりんごだいすき

さいたさいたゆきのはな

みーんなだいつキライ

のりものレインボーずかん

くほかにもたくさん新刊が入りました

★木曜休館(土日祝日は10時~17時開館)

★20日(月)~23日(木)蔵書整理休館